

昭和5年5月5日
249 回

制限の内容は東口西口より人手を取らるゝ。其の中心は金口より協和会同志会の力大なるが故である。(中略)
我が政治界の向かうところは芳澤組会の発展を阻害してあつた事は、彼れが彼れが協和会同志会を融和改良して口交の大事の結果大なりした事である。……！
目下は近く西口を去る一万里の旅の上にとり、六月五日の夜を牛車にお預け。……

十二、四、二四、 天次

終つたのは午後四時十分頃であつたと思ふ

四月廿六日の記念録にて

鈴木代表の演説甚だ盛大であり、故にマイターの示威も亦演説は中要ありと、社説を例に強く主張するの同志會も一歩を譲るべしと述べてせん
(以上海田と大島の 演説一取)
演説は鈴木代表の演説は非一帯に者も其の爲めに同志會の 演説は二百人位増加したと、社説に記しては明瞭に記して向つて中略中 精査 後便
此録は之れが其の所と、社説に記して向つて中略中 精査 後便
又演説は之れが其の所と、社説に記して向つて中略中 精査 後便

新聞 新聞